

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
児童多機能型支援NEST		2025年 3月 28日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	運動と玩具、読書、宿題等の遊びをする部屋を分けて行っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	基準プラス1名は配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。	5	1	各部屋に何をやる部屋なのか絵文字、文字で掲示している。その日の予定を視覚でわかるように掲示している。	玄関に段差があるところがあるので、注意喚起や声掛け等による配慮が必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもが安心して過ごせる環境になっているか。	6	0	空気清浄機、換気扇を常時使用している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められているか。	6	0	必要に応じて別室で対応できる。着替えやクールダウンで別室を使用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)が実施されているか。	6	0	ミーティングを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けているか。	4	2	アンケート後、事業所内で改善等のミーティングを行い周知している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	ミーティングを行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3		第三者による外部評価を検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修を行っているか。	6	0	事業所内研修を行っているが、外部研修にも参加できる機会を確保している。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1	ホームページに大まかなプログラムを公表している。その日の参加児童によって内容を工夫している。毎月のプログラムカレンダーを保護者に配布している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者の関係性を構築しているか。	6	0	定期的な保護者面談でニーズ・課題の聞き取りをしている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者の承認を得ているか。	6	0	モニタリング会議を行っている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	日常的に支援内容がわかるように一覧としてまとめている。計画は共有され、支援に反映している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォローアップを行っているか。	6	0		

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援活動の計画」を参考に、児童発達支援活動の計画を策定しているか。	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	定期的にミーティングを行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	内容をローテーションさせている。継続して身に付くものも多いため、固定されているものも多い。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせているか。	6	0	基本的には集団活動を行っている。児童の情緒面を配慮し、個別対応をすることもある。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援活動の内容を確認しているか。	6	0	ミーティングを確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援活動の内容を確認しているか。	6	0	ミーティングを行っている。アルバイト含め全員は参加できていないので共有ノートを用いて周知している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に役立てているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要がある場合は見直しを行っているか。	5	1	定期的にミーティングを行っている。児童の状況を見て判断している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との連携を図っているか。	4	2	管理者、児発管が赴くようにしている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育等と連携を図っているか。	4	2		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進に取り組んでいるか。	6	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との連携を図っているか。	6	0	保護者や相談支援専門員を介している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	4	2		
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じて支援活動の連携を図っているか。			療育センター主催の研修などに参加している。	

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこ	4	2	公園活動などをしている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況	4	2	送迎時などに活動時の様子や、今日一日の様子を伝えている。連絡ノートも活用している。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プ	3	3	送迎時などにスムーズに支援ができた内容などは伝えている。	まとまった時間をとって行うなどはできていない。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を	6	0	契約時に行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の	5	1	面談時で伺っている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護	6	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に	6	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等に。	3	3	単発でイベントなどは行っている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整	6	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用すること	6	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための	5	1		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運	3	3		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、	6	0		
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備	5	1		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認	5	1	契約時に確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対	6	0	契約時にあるようであれば、後日提出してもらっている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要	5	1		

応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全	6	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について	6	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応	6	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的	6	0		